

建設現場の泥臭い「実行予算」哲学が、現代のナレッジワークを救う

プロジェクト利益の設計図

株式会社プロジェクト・イノベーション / 古谷幸治

なぜ、プロジェクトは常に赤字のリスクを抱えるのか？

「机上の見積もり」 →

「現場の魔物」 →

WATERLINE

理想的な稼働率、
完璧な仕様定義、
スムーズな進行

- 要件定義のブレ ⚠
- 仕様変更 ⚠
- 技術的負債
- アサインのミスマッチ
- 予期せぬバグ修正 ⚠
- コミュニケーションコスト

表面的な単価計算だけでは、現場の「不確実性」という重圧に耐えられない。

利益は残るものではない。「ひねり出す」ものである。

「実行予算とは、何がなんでも利益をひねり出さなければならないものであることを覚悟せよ」 — 建設現場の絶対原則



単価の寄せ集めではない

実行予算は、単なる原価計算ではない。

意思と戦略の反映

どのような工法（アプローチ）をとるか、誰をアサインするかでコストは劇的に変わる。

赤字の許容不可

「これだけかかるから仕方ない」は通用しない。現場の知恵でコストを制圧する。

「見積書」と「実行予算」の決定的なパラダイムの違い

	見積書	実行予算
目的	受注するため	絶対に利益を確保するため
前提	理想的な標準条件	現実の制約と現場の悪条件
計算手法	単価 × 数量の機械的計算	工法・人員配置の最適化シミュレーション
作成者のマインド	計算機	利益の設計士

「同じ条件の現場は二つとない」 — 物理空間と情報空間の同型性

建設業



----- 悪天候・地盤の悪さ -----

----- 重機か手作業か（工法） -----

----- 職人の段取りと手配 -----

ナレッジワーク



予期せぬバグ・技術的負債・仕様変更



どのフレームワーク・ツール・開発言語を採用するか

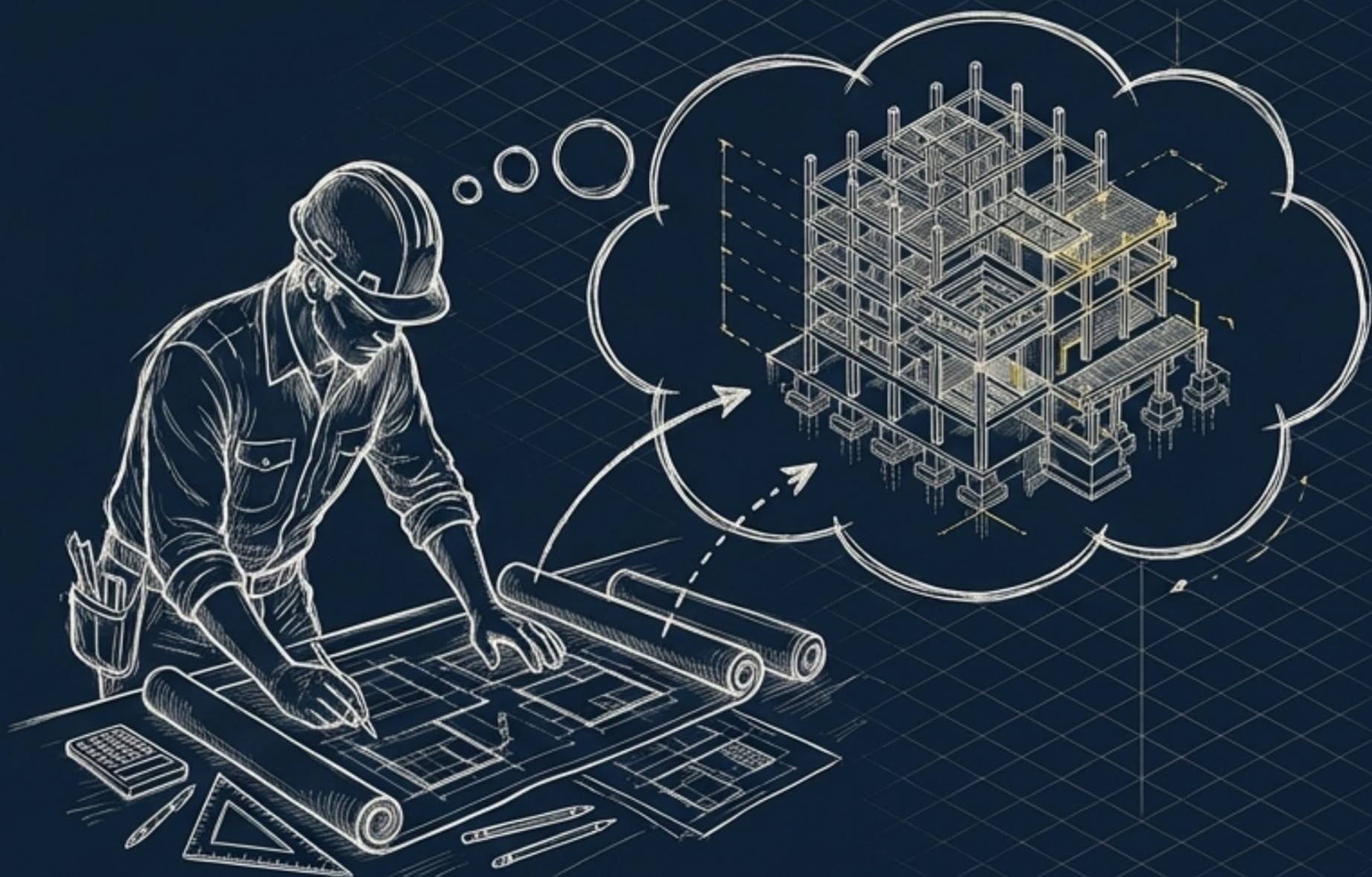


エンジニア・コンサルタントのアサインと稼働率管理

ソフトウェア開発、コンサルティング、イベント制作も、本質的には「現場ごとの特注品」を造る建設業と全く同じ構造を抱えている。

熟練の現場監督は「頭の中に完成図」を描く

「設計図書を読みこなし、頭の中に完成された形をえがき…
施工手順を研究しなければならない」



1 拾い出し

自分の手で数量を計算し、
リスクを肌で感じる。



2 脳内シミュレーション

図面を何度も読み込み、現場の
動きを頭の中で完全に再現する。



3 先手の段取り

想定外の事態（雨、人員不足）に
対する代替案をあらかじめ組み込む。



この「泥臭い脳内シミュレーション」こそが、
プロジェクトを赤字から救う唯一の防波堤である。

物理空間から情報空間へ。対象の無形化を追い求めた軌跡

1991: 朋友建設 (不動産・建設)

物理的な建築物。和議(民事再生)を経験し、血の通った泥臭い建設会計と再生業務の真髄を叩き込まれる。

2002: エンプレックス (IT・CRM)

ソフトウェア開発。アクセンチュア出身者と合流しCFOへ。建設会計の知見をITの無形プロジェクトに移植し、「eMplex PBM」を構築。

2010: ホリプロ (エンタメ・タレント)

ブランドと才能。新規事業開発やグループ経営管理において、極めて属人的なタレントプロデュースの領域に

2010: ホリプロ (エンタメ・タレント)

ブランドと才能。新規事業開発やグループ経営管理において、極めて属人的なタレントプロデュースの領域に管理会計を持ち込む。

2020: プロジェクト・イノベーション設立

代表取締役CEO。「工業社会から知識社会へのシフト」をテーマに、200社以上のナレッジワーカー生産性向上を支援。

プロジェクト管理会計士：古谷幸治

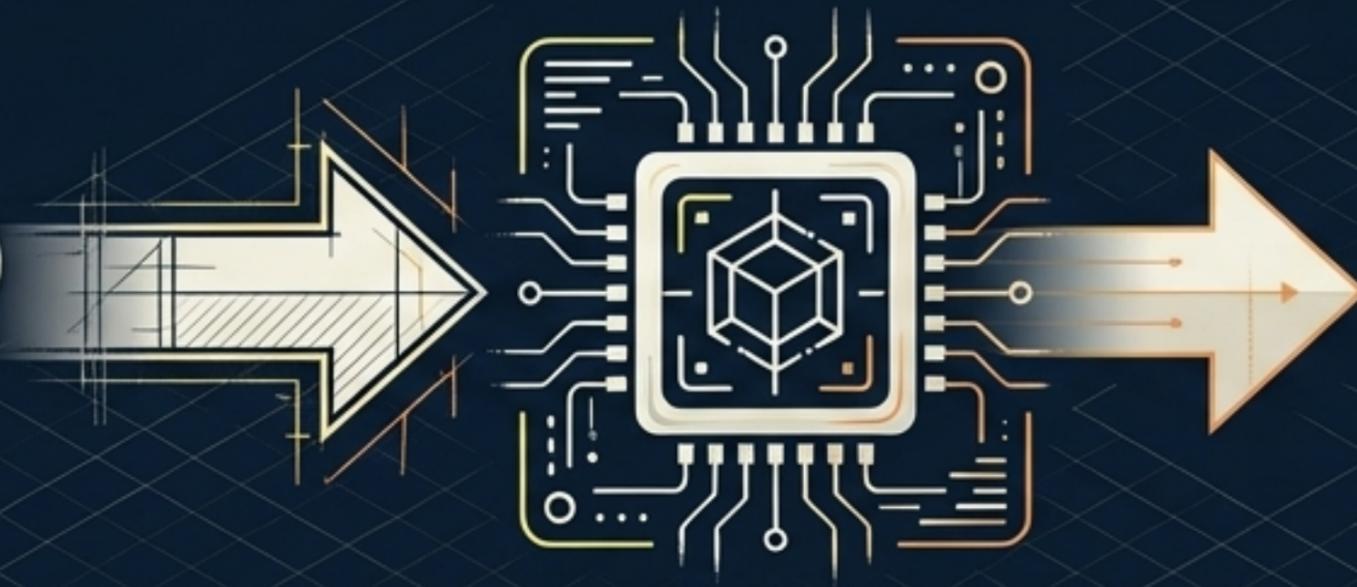
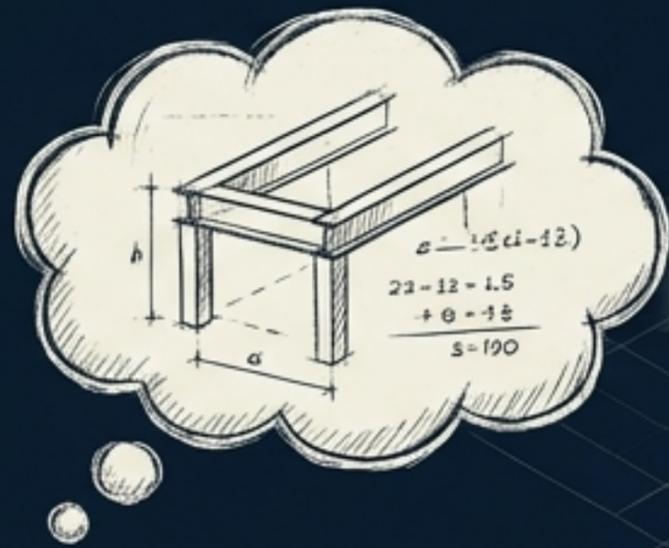
建設からエンタメまで、プロジェクト型ビジネスの全てを知り尽くした「利益の設計士」。



- **工業社会から知識社会へのシフトの伝道師**
知識労働者（ナレッジワーカー）の「**見えない生産性**」を正確に測り、可視化する。
- **ソフトウェア特有の会計構造への深い理解**
単なる開発費だけでなく、研究開発、バグ修正、バージョンアップ等の**複雑な原価構造**を紐解く。
- **全方位のドメイン知識**
IT、コンサル、イベント、Web制作、不動産、人材派遣など、**あらゆるプロジェクト型ビジネス**の裏側を熟知。

「脳内シミュレーション」のデジタル実装：フォーキャストマネジメント

建設現場のベテラン主任が行っていた「頭の中での着地予想と軌道修正」を、
属人的な暗黙知から、組織的なデータ基盤へと昇華させる。



フォーキャストレポート

属人的な勘

手書きの図面

現場の朝礼

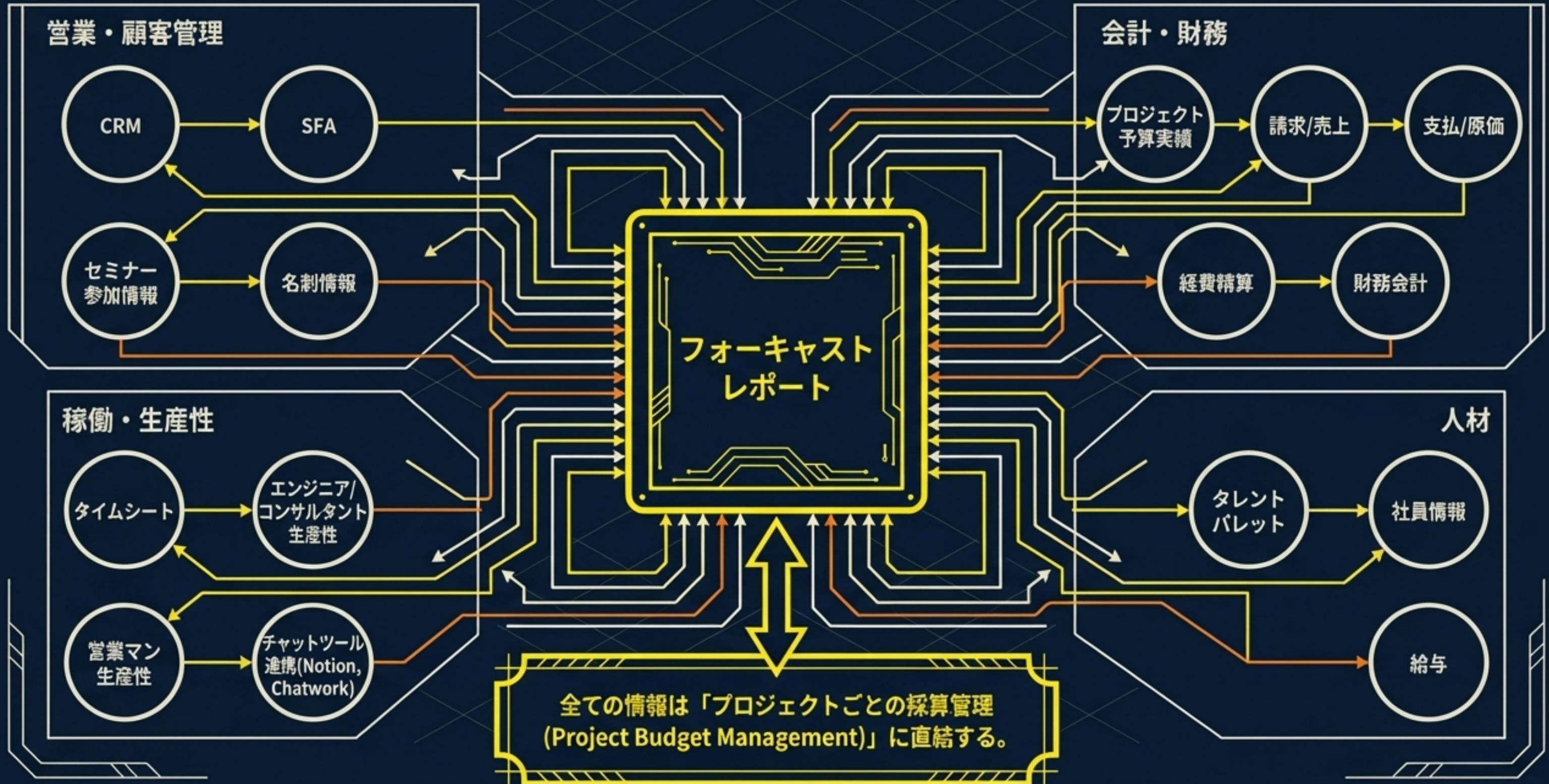
独自のフォーキャストレポート

稼働分析・プロジェクト収支実績のリアルタイム追跡

データに基づく未来の着地予想（フォーキャスト）マネジメント

過去の「実績」を振り返るのではなく、未来の「着地」をコントロールし、意図的に利益を創出する。

点在するデータを「利益の設計図」に統合するエコシステム



実装と変革のコンサルティングメニュー



200社以上の支援実績に基づく、確実な変革のロードマップ。

利益は偶然の産物ではない。 意志を持った設計の賜物である。

工業社会から知識社会へと移行し、プロジェクトがどれほど複雑化・無形化しようとも、
「現場の条件を読み解き、知恵で利益をひねり出す」という本質は変わらない。

属人的などんぶり勘定を脱却し、あなたの組織に「プロジェクト管理会計」という確固たる設計図を。